

明日の中野に ハッキリ決断、すばやく実行!

中野区議会議員

佐野れいじ 区政報告

<http://www.sanoreiji.jp>



平成23年度一般会計1,113億円^(予定) その主な事業 中野のまちが大きく新しく変わります。

佐野れいじは、建設委員会委員長として中野駅周辺がにぎわいと環境の調和した、新しい東京の活動拠点となるように整備・事業計画を積極的に進めています。

平成24年春完了予定の第1期整備とあわせて、今後、区役所・サンプラザ地区等も整備されます。

中野駅に新北口駅前広場(北西側)を整備、都市型複合交通ターミナルへ

中野区が進めている中野駅地区整備基本計画によると、第1期整備(平成22年竣工予定)では現北口広場(北東側)は歩行者中心の広場とし、バス乗降所は中野サンプラザ南側へ仮設バス停を整備し移設。第2期(平成27年頃)には中野駅西側に西口と南北自由通路が竣工、第3期(平成30年頃)には北西側の新北口広場は都市型複合交通ターミナルとしてバスバースや、駐輪場、駐車場を整備、車両の出入口は中野通りの自動車交通の集中を避けるため広場西側に確保する予定です。また、中野駅ガード下の中野通り東側の歩道拡幅も計画されています。



▲中野駅地区の第1期整備
(中野駅地区整備基本計画より)

◀中野駅の新しい北口改札内のイメージ
(中央本線中野駅西側橋上南北通路・改札新設及び北口改修に関する調査設計より)

〈拡充・推進〉

予算額:19億1,960万円



東中野駅西口にロータリー広場を整備、5階建ての駅ビルも

山手通りの拡幅事業に併せて、東中野西口に新しい駅前広場(交通広場)が整備されます。

広場面積は2240m²。地下駐輪場約270台(1段式)。ロータリー形式でバス・タクシー乗り場、一般車の乗り入れが出来ます。また、駅舎と駅前広場を連結する線路上空の人工地盤を整備し、5階建ての駅ビルを建設、1階を連絡通路に、上階を商業施設・子育て支援施設等に活用する予定です。駅前広場整備工事完了は平成26年度となっています。



▲東中野駅前広場イメージ

(東中野駅前広場整備説明会資料より)



▲東中野駅連絡通路イメージ

〈拡充・推進〉 予算額:4億3,681万2千円